

小学生(高学年)向け



『ある星の汽車』

森洋子／著
福音館書店 ¥1,980 (税込)

男の子とたくさんの動物たちを乗せ、広い大地を走る汽車。動物たちのおしゃべりでにぎやかな車内だったが、ドードーやブルーバックなど絶滅した動物が次々と下車していく。未来へと向かう汽車の行く末に読み手の思いをいざなう絵本。



『おれたちのラストイヤー』

マット・グッドフェロウ／著 ジョー・トッド=スタントン／画 小林玲子／訳
評論社 ¥1,760 (税込)

イギリスの寂れた町に暮らすネイトは、家族や友達への思いを日々詩に託し、書き散らしていた。ある日授業でその詩を朗読すると、先生は閃いた言葉をメモするようにとノートをくれた。ネイトが詩でつづった小学校最後の1年間の記録。



『絵で見る和子さんの地方病(日本住血吸虫症)』

昭和町風土伝承館杉浦醫院／作・編集 横井まい子／絵
昭和町教育委員会 ¥1,500 (税込)

今から90年度ほど前、和子の村には水田が広がり、子どもは川で泳いだり魚を捕まえたりしていた。一方で、水田や川に潜む寄生虫による地方病が人々を苦しめていた。地方病撲滅までの歴史や、治療に尽力した杉浦醫院について学べる一冊。



『子ブタたちはどう生きたのか』

太田匡彦／著
岩崎書店 ¥1,650 (税込)

荊州市にある養豚場「ぶうふうう農園」。ここは、動物が本来の姿で過ごせるよう配慮する「アニマルウェルフェア」を重視し、完全放牧養豚を掲げて実践している。代表の中嶋さんが愛情を注いで育てた子ブタたちの7か月を追う。



『千年先のあなたへ』

佐藤まどか／作 佐藤真紀子／絵
BL出版 ¥1,760 (税込)

小学生の杏はお姉ちゃんの花梨が大好き。杏は、夢をかなえて宮大工になった姉の仕事を知りたいと思い、姉の勤務先で企画された小中学生向け見学ツアーに参加した。そこで、千年先に続く宮大工の技に触れて…。



『図書館探偵団』

野口武悟／監修 柴田こずえ／編集・文
岩崎書店 ¥3,960 (税込)

学校図書館や公共図書館の役割、図書館の種類や歴史、本の探し方、バリアフリー図書など、図書館にかかわるさまざまな情報を、豊富な写真とともに解説。甲州市立勝沼図書館の活動が、特色ある事例として紹介されている。



『ホテル・バルザール』

ケイト・ディカミロ／作 ジュリア・サルダ／画 横山和江／訳
偕成社 ¥1,650 (税込)

戦争で家を追われ、マルタは母とホテル・バルザールへやってきた。ホテルで働く母から「小さなネズミみたいに静かにしていなさい」と言われたが、マルタは老婦人に誘われ、7つの物語を聞くために老婦人の部屋へ通いはじめる。



『わたし、わかんない』

岩瀬成子／著 酒井駒子／装画
講談社 ¥1,540 (税込)

どんな質問にもすぐ「わかんない」と言う中と同級生は笑うが、幼なじみのセンは、自分の気持ちに正直な中のことをうらやましいと言う。ある日、中はセンから怪しい家を見張ろうと誘われるが…。思いを言葉にする難しさを伝える物語。

その他のおすすめの本

『あたたかな手』

濱野京子／作 偕成社 ¥1,650 (税込)

『イタチと野ネズミのはなし』

山下雅洋／文 しもかわらゆみ／絵 アリス館 ¥1,650 (税込)

『こども気象庁』

気象庁／監修 新星出版社 ¥1,980 (税込)

『純喫茶クライ』

吉田桃子／作 岩崎書店 ¥1,650 (税込)

『白い虹を投げる』

吉野万理子／作 黒須高嶺／絵 Gakken ¥1,760 (税込)

『動物のことばがわかる本』

ドクター・ニック・クラプトン／作 エイドリアン・パーマン／イラスト いでさとみ／訳 ゆまに書房 ¥3,520 (税込)

『読書感想文が終わらない!』

額賀澤／作 satsuki／絵 ポプラ社 ¥1,760 (税込)

『図書だよりとひみつのノート』

赤羽じゅんこ／作 はらぐちあつこ／絵 さ・え・ら書房 ¥1,760 (税込)

『はじめまして赤い星』

エドゥアール・アルタリーバ、ギリエン・アングラーダ・エスケデ／他著 わたなべしゅんいち／監訳 いとうのぶこ／訳 化学同人 ¥2,640 (税込)

『ぼくへのレファレンス』

岩崎まさえ／作 黒須高嶺／画 国土社 ¥1,650 (税込)

『みんなみんなとってもすてき』

パティスト・ポーリュウ／文 チン・レン／絵 ひがきゆみ／訳 ひさかたチャイルド ¥2,178 (税込)

『もしも明日、ぼくの足がなくなったら』

舟崎泉美／著 Gakken ¥1,430 (税込)